

6 長県材第 6 号
令和 6 年 9 月 9 日

長野県建設業協会 様

長野県県産材振興対策協議会
会 長 宮 崎 正 毅



令和 6 年度「信州木づかいコンテスト【土木利用】」の実施について（依頼）

時下 ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から当協議会の運営につきまして、御理解・御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、県産木材の土木・公園工事等への利用や木材を活用した新たな工法提案の表彰及び普及啓発を通して、県産木材の需要拡大を図るため、別紙「開催要領」に基づき実施します。

つきましては、当コンテストの趣旨を御理解いただき、コンテストへの応募くださいますよう会員への周知につきまして、特段の御配意を賜りますようお願いいたします。

長野県県産材振興対策協議会
（事務局：長野県木材協同組合連合会内）
事務局長 柴田 昌志
T E L : 026-226-1471
F A X : 026-228-0580
E-mail : nkenmokuren@siren.ocn.ne.jp



令和6年度「信州木づかいコンテスト【土木利用】」開催要領

1 目的

県産材を土木・公園工事や建物のエクステリアとして活用した工事並びに木材を活用した新たな工法提案の表彰及び普及啓発を通して、県産材の需要拡大を図り、ゼロカーボン社会の実現に寄与する。

2 主催

長野県県産材振興対策協議会

構成員 中部森林管理局、長野県林務部、長野県木材協同組合連合会
長野県森林組合連合会、長野県木材青壮年団体連合会
長野県集成材工業会、信州木材認証製品センター
長野県県産間伐材供給センター協議会、長野県納材協会

3 共催

長野県治山林道協会

4 後援

長野県林業コンサルタント協会

5 応募対象の工事・工法の提案

県産材を活用した次の(1)から(4)の「工事」並びに「木材を活用した新たな工法の提案」であり、工事の施工箇所は日本国内とする。

- (1) 治山 林道 道路 砂防 河川、地滑り等の公共及び民間の土木工事
- (2) 東屋、遊歩道、遊具、看板等の公園工事
- (3) 塀、デッキ、基礎杭等建築物のエクステリア工事
- (4) 矢板、仮囲い、現場事務所等本体工事に付帯する仮設工事
- (5) 木材を活用した「新たな工法の提案」

6 応募対象者

(1) 工事

工事の発注者及び設計者、任意仮設工事を実施した工事の受注者

(2) 新たな工法の提案

日本国内に居住し、木材を使った工法に関する知識、技術を有する者

7 応募期間

令和6年9月12日から令和6年11月15日まで

8 スケジュール

応募(9～11月) ⇒ 審査(12月) ⇒ 授賞式(1～2月)

9 審査

主催者の構成団体の専門家を審査員とし、「木材の特性を生かしているか」、「施工しやすいか」などの10項目の基準により審査する。

10 賞及び受賞点数

- (1) 長野県知事賞 (1点)
- (2) 中部森林管理局長賞 (1点)
- (3) 長野県森林組合連合会長賞 (1～2点)
- (4) 長野県治山林道協会会長賞 (1～2点)
- (5) 長野県木材協同組合理事長賞 (1～2点)
- (6) 長野県県産材振興対策協議会長賞 (1～2点)
- (7) その他共催者賞 (点数は未定)

11 授与式

受賞者に賞状及び副賞を交付する。

別紙

令和6年度「信州木づかいコンテスト【土木利用】」応募申込書(工事用)

応募者区分< 組織 ・ 個人 >

令和6年 月 日

応募者	所属名	
	代表者名	
	担当者名 (個人応募者名)	
	電話・FAX	
	メールアドレス	
工事内容	発注者名	
	事業・工事名	
	設計者	
	施工者	
	施工場所	
	工種・工法名	
	工事費	全体
木質部材費		(注:木質部材費及び割合は、設計額における直接工事費+仮設費で計算して下さい。)
特徴等	木工事の施工数量	
	木製品の種類・使用量など	
	工法採用の理由・工夫など	

<添付資料>

- 1 施工写真(木造・木質工事を俯瞰できる写真、工法・特徴をアピールできる写真等)
なお、写真はワード又はエクセルデータとする。
- 2 標準図
- 3 歩掛表
- 4 その他参考資料

別紙

令和6年度「信州木づかいコンテスト【土木利用】」応募申込書(工法提案用)

応募者区分〈 組織 ・ 個人 〉

令和6年 月 日

応募者	所属名		
	代表者名		
	担当者名 (個人応募者名)		
	電話・FAX		
	メールアドレス		
工法提案の内容	工種・工法名		
	概算 工事費 (材料費+ 施工費)	全体	
		木質部	
	図面	別紙のとおり (平面図・立面図等提案工法が分かる図面)	
提案工法の特徴等	提案工法の工夫点		
	工法を考えた・開発した理由		
	工法のPRポイントなど		